

マダム・バタフライの素顔

～原作と音楽から考えるその現代性～

プッチーニ円熟期の名作「蝶々夫人」は、世界中で愛される人気オペラの一つ。しかし、その初演で酷評を受けて以来、作曲者によって何度も改訂を施されました。その過程には、西洋と東洋の文明的対立を背景にした、様々な偏見や配慮が働いています。このプレ企画では、アリアの生演奏を交えながら「マダム・バタフライ」の素顔に迫ります。

お話： **千葉潤**（札幌大谷大学 芸術学部音楽学科 学科長・教授）



1966年、仙台生まれ。
東京藝術大学大学院音楽研究科後期博士課程満期退学、
ロシア国立モスクワ音楽院大学院音楽理論科修了。
2003年に芸術学カンディダート(Ph.D)取得。
洗足音楽大学、くらしき作陽大学、北海道教育大学等の
非常勤講師を歴任。
専攻は音楽学・現代ロシア音楽。
著書に「作曲家人と作品 ショスタコーヴィチ」(音楽之友社)、
共編著に「ロシア音楽事典」(カワイ出版)など。

出演： ソプラノ／佐々木アンリ(蝶々夫人)
テノール／岡崎正治(ピンカートン)
ピアノ／伊藤千尋



日時：2021年1月22日(金) 19:00 開始 (18:15 開場)
会場：クリエイティブスタジオ (札幌市民交流プラザ3階)
料金：1,000円 (要予約・当日座席指定) ※当日会場にてお支払ください。
参加申込み方法：2020年12月27日(日) 10:00より
下記のメールアドレスまたはお電話にてお申込みください。
※定員(80名)になり次第、申込みを終了させていただきます。



お問い合わせ・お申し込み：E-mail lesson@hokkaido-nikikai.com

感染症対策はこちらから

TEL 090-6266-5313 (北海道二期会 電話受付担当 延与)

主催：札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市芸術文化財団)、一般社団法人北海道二期会

hitaruオペラプロジェクトプレ公演

オペラ **蝶々夫人**

2021年2月21日(日) 14:00 開演

チケット：2021年1月9日(土)先行販売
2021年1月16日(土)一般発売

お取り扱い：市民交流プラザチケットセンター
道新プレイガイド